

社会の中でたくましく生きる子ども達を、地域全体で育む

石巻市コラボスクール推進事業

コラボスクールは、地域と学校の協働を進め、地域の特色を生かした教育活動を実践し、子ども達の「生きる力」を育成することをねらいに行われています。

平成18年度に大街道小学校と須江小学校が宮城県より2年間指定され、両校の実践が地域と学校の教育力を高めたことに着目し、市では、平成20年度から市独自の事業としてモデル校4校を指定し取り組みました。さらに、本年度は、モデル指定を増やし、9校で行われます。



平成20年度の成果(報告書から抜粋)

子どもの生きる力の育成

- 学習意欲の向上(興味・関心の高まり、学ぶ楽しさ、達成感の充実)
- 学習の質の向上(地域の教育力「ひと・もの・こと」による学習の広がり)
- 豊かな人間性の育成(感謝の心、尊敬の念、思いやり、社会性を育む好機)
- 郷土愛の醸成(地域の一員としての誇りの芽生え、地域活動への積極的参加)

学校の教育環境の改善

- 協働教育の視点から教育活動を見直すことによる教育活動の充実
- 地域における学校理解への機会拡大による学校との信頼関係の醸成
- 教職員の意識の変容(協働教育や地域活性化の視点の芽生え)

豊かな地域づくりへの貢献

- 協働する地域人材活用の拡大(推進委員会が機能し、地域と学校の連携が推進)
- 学校を核とした地域住民の交流の活性化
- 学校を基地とした新たな地域活動、地域ネットワークの創出

平成21年度

実施校の計画を紹介します

◎渡波小学校

〔主な活動〕

- ・オモシロ意学習塾、スポーツ体験学習塾(月2・3回程度)
- ・日高見太鼓の伝承文化活動
- ・福祉施設見学、福祉体験と交流

◎中津山第二小学校

〔主な活動〕

- ・はねこ踊りの伝承活動
- ・スリムねぎの栽培体験
- ・豆腐づくり体験

◎稲井小学校

〔主な活動〕

- ・地域のお年寄りとの交流会
- ・職業体験活動
- ・縄ない体験

◎桃生小学校

〔主な活動〕

- ・梅干し作り体験
- ・鮭のふ化・放流体験活動
- ・しめ縄、しめ飾り作り体験

◎開北小学校

〔主な活動〕

- ・北上川水質調査活動
- ・カヌー体験活動
- ・獅子風流の伝承活動

◎相川小学校

〔主な活動〕

- ・樽漕ぎ体験、釣り大会
- ・ホタテ、ワカメの養殖体験
- ・相川沢川探検

◎大谷地小学校

〔主な活動〕

- ・米作り体験活動
- ・キャップハンディ体験活動
- ・昔の遊びの体験活動

◎谷川小学校

〔主な活動〕

- ・大谷川浜の清掃活動
- ・ホヤの養殖体験
- ・仔、稚魚の飼育と放流体験

◎北村小学校

〔主な活動〕

- ・竹、わら細工体験
- ・大沢神楽の伝承活動
- ・福祉施設の訪問、交流活動

※このほかにも、読み聞かせボランティアによる「本の読み聞かせ」など、各地区の特色を生かした活動が計画されています。

石巻小学校

和室を活用した囲碁や茶道体験、学区内企業との奉仕作業、地域のお年寄りに感謝する会など



雄勝小学校

雄勝特産のホタテに関する体験活動、雄勝法印神楽や黒潮太鼓の伝承活動など



平成20年度 特色ある活動を紹介します

鹿又小学校

河南高校の生徒との野菜栽培活動や地域のアグリネットワークとの米作り体験など



吉浜小学校

ヨシを素材としたさまざまな体験活動や北上川源流探検、水質調査の環境学習など



◎ 一口メモ ◎

協働教育 家庭・地域と学校が協働して実践する教育活動です。

協働 複数の主体者（家庭・地域・学校・行政）が目的（子どもの健全育成に向けて）を共有し、それぞれの特性・能力を生かしながら、互いに尊重しつつ、対等の立場で協力し合い一緒に働くことです。

コラボスクール推進事業 コラボとは「コラボレーション＝協働」の意味。みやぎらしい協働教育推進事業の一環として、学校、地域、行政が一体となって、子ども達が自ら考え、自ら判断し、自ら行動できる生きる力を育むために行っていく事業です。

☐ 生涯学習課（内線 605・606）

コラボスクールレポート

7月4日（土）、渡波小学校講堂で渡波小学校区コラボスクールが行われました。この日は、「環境浄化と保全」をテーマに環境活性液の活用について佐藤会長さんがユーモアを交え、わかりやすく説明しました。また、ドッジボールなど遊びの時間も取り入れ、その後、スポーツ体験学習塾として「バレーボール」と「少林寺拳法」の2種目に分かれ、楽しく汗をかいていました。



渡波小学校区コラボスクール推進協議会会長
佐藤金一郎さん

佐藤会長さんは、「子ども達には遊びで学ぶことがたくさんあるということを感じてほしい。また、物事には違った面があり、それを考えさせることが大切だと思うので、常に「なぜなのかなあ」ということを考えてもらうことを意識して子ども達と接しています。いろいろな体験を計画していますので、ぜひ、多くの子ども達に参加してもらいたい。また、地域の中には、人生経験の豊富な方がたくさんいるので、そのノウハウを子ども達に教えてほしい。地域全体で将来を担う子ども達を育成していきましょう」と話していました。